

想

特集 消化器センター開設！

JR九州病院の外科の現在

～外科 柳田主任医長～

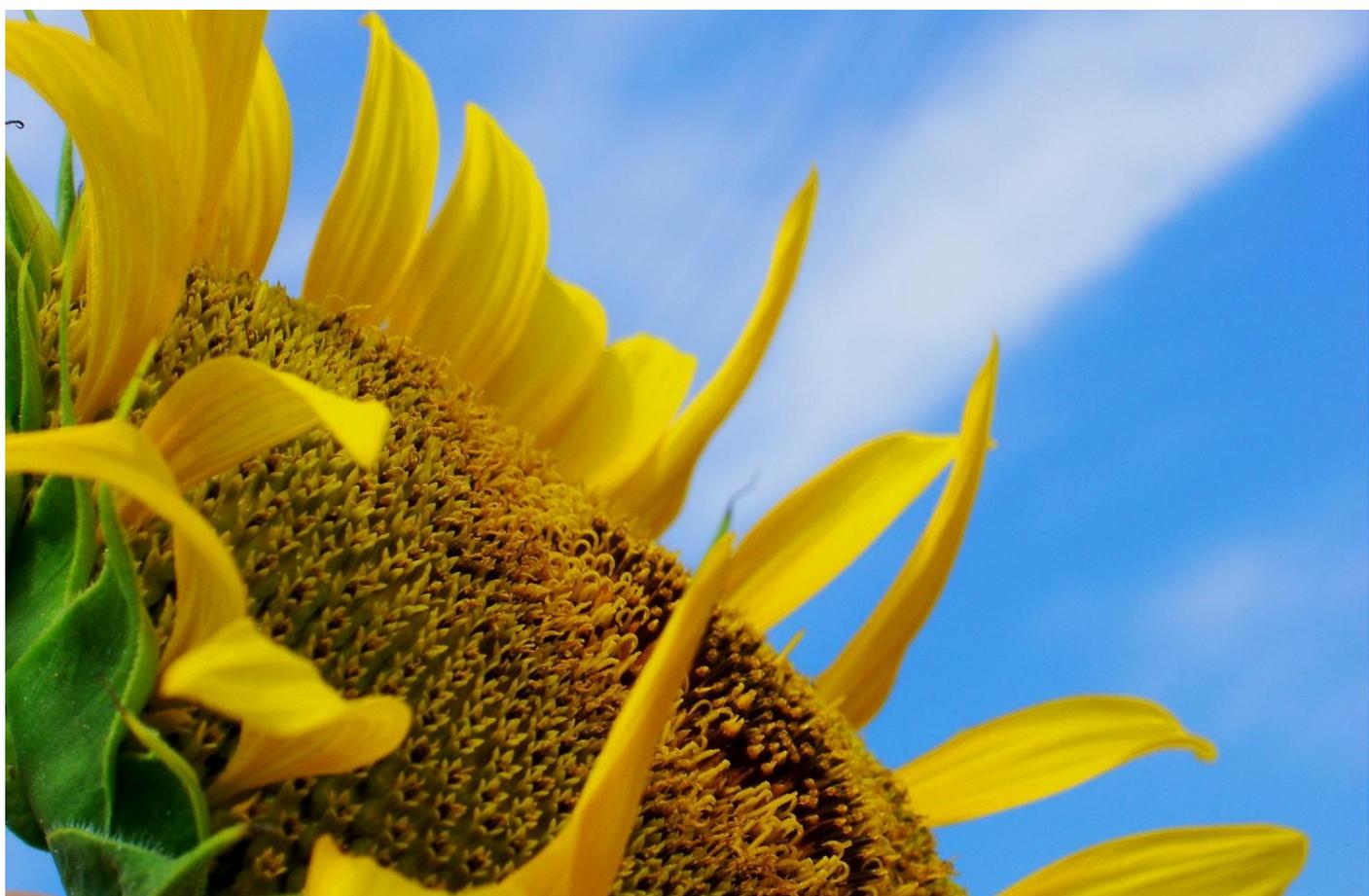
新任ドクター紹介

～消化器内科 光岡医長・眼科 中野医長～

旬の味だより

～トマトそうめん～

JR九州病院 広報誌「そう」第13号



撮 影 者 石井正子 (NTTパソコンセミナーOBデジカメクラブ)

撮 影 場 所 道の駅原鶴 ひまわり園

撮 影 者 コ メ ン ト : す が す が し い 青 空 に 向 か っ て 咲 く ひ ま わ り に
見 物 客 も 思 わ ず 青 空 を 見 上 げ て . . .

'09 夏

JR九州病院



1. 外科での診療

JR九州病院外科では総勢4名で、食道、胃・十二指腸、大腸などの消化管の疾患、肝・胆・すい疾患や乳腺・甲状腺、ヘルニア、痔など幅広く一般外科診療を行っています。

近年では、内視鏡や腹腔鏡を用いた縮小手術、すなわちカメラを使っての治療法が進んでいますが、当院でも積極的にこうした手術を行い、侵襲（※）の少ない治療を行っています。例えば胆石のような良性疾患や、早期がんにおいて行っている腹腔鏡手術では、従来と比べ小さな傷で、術後の痛みが少なく、より体への負担が少ない手術法であるため、短い入院期間で行うことができます。もちろん、治療効果については従来の手術方法の場合と同様です。ご高齢の方の手術も増加していますが、こうした低侵襲の治療や、充実した術後のリハビリテーションにより、安心して医療を受けていただくことができます。

※手術などで体を切開したり、体の一部を切除する行為や、薬剤の投与によって生体内に何らかの変化をもたらす行為などを意味します。

2. 消化器内科との連携

さらに、6月1日に当院に消化器センターが開設されましたが、消化器内科医の心強い協力の下、内科、外科などの診療科にとらわれることなく、胃がん、大腸がんを代表とする消化器疾患、胆石や胆のう炎などの胆のう系疾患等における内視鏡検査・治療や、外科手術への連携によって、よりスムーズに迅速かつ的確な治療を目指しています。

3. 乳がん検診の重要性

また、最近増加傾向が問題となっている乳がんについては、乳がん検診を含め、最新の乳がん治療にも取り組んでいます。乳がんは増加傾向にあるとはいえ、早期発見・早期治療によりほぼ治癒に近い状態になりうる疾患です。しかし、残念なことに日本、特に福岡県は、乳がん検診受診率が低いことで有名であるようです。乳がんによる死亡率増加は、検診受診率の低さが原因であるとも言われていますので、ぜひ定期的な自己触診や検診の受診をおすすめします。

4. 患者さんと一緒になったチーム医療

さて、私はJR九州病院に赴任して1年半になりますが、この間、たくさんの事を学ばせていただきました。なかでも当院の特長は、複数の診療科による専門医療機関である総合病院であるにもかかわらず、大きな病院では比較的困難な、診療科を越えた連携診療が存在していることです。診療科の領域を越えて各分野の専門家が一人の患者さんの一つの疾患のために、チームとなって診療できる体制や、医師・看護師・薬剤師・リハビリテーションスタッフ・検査技師・放射線技師・栄養士など、スタッフ間の横のつながりが密接で、風通しの良い病院であることは、珍しいのではないのでしょうか。また、最新医療を行うだけでなく、再診時の予約制度に代表されるように、患者さんと十分にコミュニケーションをとり、病気についてきちんと理解していただけるよう、時間を配慮することのできる環境も重要であると考えています。これからもこうした当院の長所を活かし、患者さんが安心できる、より良い医療を行うように努めてまいります。

消化器センター開設！

6月1日に標榜した消化器内科に新しく赴任した医師1名に加え、JR九州本社産業医兼務医師2名、産業医大第3内科からの非常勤医師2名を含む5名の消化器内科医師（主に消化管、すい臓専門）、九州大学第1内科の肝臓病グループの医師2名、さらに外科、放射線科医師を加えた消化器センターを開設しました。

1. 消化器センターの対象疾患

- ・食道、胃、十二指腸、大腸など消化器の疾患（悪性腫瘍、感染性腸炎など）
- ・肝臓、胆のう、すい臓の疾患（悪性疾患、胆石、急性すい炎など）

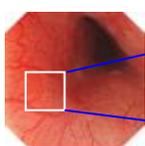
2. 診察内容・特色

検診の精密検査や治療内視鏡のほか、内視鏡的胃ろう増設術および交換を行います。また、8月下旬を目途に嚥下機能評価を行い、リハビリテーション室や栄養室と連携して、患者さんの栄養状態の改善を目指します。

3. 新型内視鏡システムの増設

8月から現在の内視鏡システム1式に加え、新型内視鏡システムを1式増設しました。新型内視鏡システムには、NBI（狭帯域光観察）・拡大観察システム、および炭酸ガス送気装置を導入します。NBI・拡大観察システムにより悪性疾患を早期に発見しやすくなるほか、炭酸ガス送気装置により、検査中及び術後の腹部膨満感が著しく軽減されます。また、現在の内視鏡システムもハイビジョン化しました。

通常観察
(通常光)



全拡大+電子拡大
(NBI)



新任ドクター紹介

6月より2人のドクターが赴任しました。

消化器内科 光岡 浩志（みつおか ひろし）



はじめまして。北九州市出身ですが、当院赴任前は5年ほど関西圏の病院に勤めていました。久しぶりの九州は、スタッフはもちろんのこと患者さんも優しく、「地元に戻ったなあ」と日々感じて診療しています。

まだまだ不勉強なところがあり、皆さまにはご迷惑をおかけするとは思いますが、何卒よろしくお願い致します。

眼科 中野 さおり（なかの さおり）



6月に、三菱三原病院（広島県）からJR九州病院眼科に赴任してまいりました中野さおりと申します。6年ぶりに当院勤務となり、患者さんより「お帰りなさい」と言われ、うれしく思っております。また地域のみなさまのお役に立てるよう、がんばってまいりますので、よろしくお願いいたします。

